

令和5年度 年間授業計画

教科：国語 科目：言語表現 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	なし
	補助教材：	国語表現 基礎練習ノート（大修館）

教科（国語）の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（言語表現）の目標

【知識及び技能】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字・慣用句などについて理解し、知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聴き取ったり、話し合う活動を通して、相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深められるようにする。文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数	
		話・聞	書	読						
単元 自己紹介・ことばで伝える 知識及び技能 指導事項 他者に伝わる適切な比喩や言葉遣いを意識して使用することができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 話し力を養う				次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 他者に伝わる適切な比喩や言葉遣いを意識して使用することができる。				4	
思考力、判断力、表現力等 自己を客観的に見つめ適切な物に例えて工夫した自己PRをすることができる。	教材 ワークシート・副教材	○	○		思考・判断・表現 効果的に伝わるように適切な声の大きさや速さで発表できる。自己を適切な者に例えて工夫した自己PRができる。	○	○	○		
学びに向かう力、人間性等 意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようとする姿勢をもつことができる。	一人1台端末の活用場面 小テスト・課題の提出				主体的に学習に取り組む態度 意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようとする姿勢をもつことができる。					
単元 エッセイ・小論文を書く 知識及び技能 指導事項 ボキャブラリーが豊富で正しい表記を用いて表現を工夫することができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 書く力を養う				次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 説明の順序を考えボキャブラリーが豊富で表現を工夫できる。					10
思考力、判断力、表現力等 読み手に伝えるために、文体や構成、言葉の選び方を工夫できる力を身に付ける。	教材 ワークシート・副教材		○	○	思考・判断・表現 読み手に伝えるために、文体や構成、言葉の選び方を工夫できる。	○	○	○		
学びに向かう力、人間性等 話題を厳選し、読み手をあしませる趣向をこらそうと意欲的に取り組むことができる。	一人1台端末の活用場面 小テスト・課題の提出				主体的に学習に取り組む態度 話題を厳選し、読み手をあしませる趣向をこらそうと意欲的に取り組もうとしている。					
単元 小論文・作文を書く 知識及び技能 指導事項 説明の順序を考え豊富な語彙で表現を工夫する力を身に付ける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 書く力を養う				次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 説明の順序を考えボキャブラリーが豊富で表現を工夫できる。				8	
思考力、判断力、表現力等 テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てて説得力のある文章を書く力を身に付ける。	教材 ワークシート・副教材		○		思考・判断・表現 テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てて説得力のある文章を書くことができる。	○	○	○		
学びに向かう力、人間性等 読み手が納得できるように意欲的に取り組むことができる。	一人1台端末の活用場面 小テスト・課題の提出				主体的に学習に取り組む態度 話題を厳選し、読み手を納得できるように意欲的に取り組むことができる。					
単元 ビジリオバトル 知識及び技能 指導事項 通んだ本や著者について調べ効果的に構成する力を身につける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 書く力・話し力を養う				次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 通んだ本や著者について調べ効果的に構成できる。					2
思考力、判断力、表現力等 的確な構成、展開で本を紹介できる力、聞き手を引き込む話し方を身に付ける。	教材 ワークシート	○	○	○	思考・判断・表現 効果的に伝わるように適切な声の大きさや速さで発表できる。的確な構成、展開で本を紹介できる。	○	○	○		
学びに向かう力、人間性等 意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようすることができる。	一人1台端末の活用場面 小テスト・課題の提出				主体的に学習に取り組む態度 意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようとする姿勢をもつことができる。					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数	
			話・聞	書	読						
2 学 期	単元	ビブリオバトル	指導項目に対し、次の教材等を活用する。								
	知識及び技能	指導事項				次の観点別評価規準に従い評価する。					
		送んだ本や著者について調べ効果的に構成する力を身につける。	書く力・話す力を養う				知識・技能				
						送んだ本や著者について調べ効果的に構成できる。					
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
		的確な構成、展開で本を紹介できる力、聞き手を引き込む話し方を身に付ける。	ワークシート	○	○	○	効果的に伝わるように適切な声の大きさや速さで発表できる。的確な構成、展開で本を紹介できる。	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
		積極的に学習に取り組む、他者を理解しようとすることができる。	小テスト・課題の提出				主体的に学習に取り組む、他者を理解しようとする姿勢をもつことができる。				
	単元	自己を見つめた作文・反論を含む小論文を書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		常用漢字を正確に使い正しい表記や整った文で書ける力を身につける。	書く力を養う				常用漢字を正確に使い正しい表記や整った文で書ける。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	相手の話を良く聞き、理解したうえで、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力を身につける。	ワークシート・副教材	○	○		相手の話を良く聞き、理解したうえで、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力がある。	○	○	○	8	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
	自己を見つめ、考えを深め、積極的に課題に取り組むことができる。	小テスト・課題の提出				自己を見つめ、考えを深めている。積極的に課題に取り組むことができる。					
単元	話し合いを意見につなげる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項					知識・技能					
	話し合いに適切な言葉遣いを意識して、使いこなす力を身につける。	話す力・書く力を養う				話し合いに適切な言葉遣いを意識して、使いこなすことができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現					
	相手の話を良く聞き、理解した上で、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力を育てる。	権利の気球・ワークシート	○	○		相手の話を良く聞き、理解した上で、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力がある。	○	○	○	4	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
	積極的に話し合いに取り組む、他者を尊重する力を身につける。	小テスト・課題の提出				積極的に話し合いに取り組んでいる。他者を尊重することができる。					
単元	意見文・相手を想定した文章を書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項					知識・技能					
	場面に応じた表現ができ、常用漢字を適切に使うことができる力を身につける。	書く力を養う				場面に応じた表現ができ、常用漢字を適切に使うことができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現					
	テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てて、根拠を示しながら書く力をつける。	ワークシート・副教材		○		テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てて、根拠を示しながら書くことができる。	○	○	○	8	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
	積極的に課題に取り組む姿勢を身につける。	小テスト・課題の提出				積極的に課題に取り組むことができる。					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	記号時数
			話・聞	書	読					
3 学 期	単元 インタビューをする	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	常用漢字や正しい表記で的確に書く力を身に付ける。	書く力・書く力を養う				教材の場で適切な言葉遣いができる。常用漢字や正しい表記で的確に書くことができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	会話の中で臨場応答に資出し、聞いた話を効果的に構成し文体を選べる力を身に付ける。	ワークシート				会話の中で臨場応答に資出し、聞いた話を効果的に構成し文体を選べる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	質問事項を工夫したりして、積極的に取り組む姿勢を身に付ける。	小テスト・課題の提出	質問事項を工夫したりして、積極的に取り組むことができる。							
	単元 スピーチ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	発表を意識し、適切な言葉遣いでスピーチする力を身に付ける。	書く力・話す力を養う				発表を意識し、適切な言葉遣いでスピーチすることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	効果的に伝えることを考え、構成を工夫し、具体的な体験をわかりやすく伝える力を身に付ける。	ワークシート・副教材				効果的に伝えることを考え、構成を工夫し、具体的な体験をわかりやすく伝えることができる。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度								
効果的に伝えることや相手の反応を意識し、積極的に取り組む姿勢を身に付ける。	小テスト・課題の提出	効果的に伝えることや相手の反応を意識し、積極的に取り組むことができる。								
単元 表現を楽しむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10	
知識及び技能	指導事項				知識・技能					
常用漢字や正しい表記で的確に書く力を身に付ける。	書く力・話す力を養う				常用漢字や正しい表記で的確に書くことができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
様々な表現方法を知り、表現を工夫しながら、自己を見つめ、読み手を楽しませる力を身に付ける。	ワークシート				様々な表現方法を知り、表現を工夫しながら、自己を見つめ、読み手を楽しませた。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
積極的に課題に取り組む姿勢を身に付ける。	小テスト・課題の提出	積極的に課題に取り組むことができる。								
単元 手紙を書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	2	
知識及び技能	指導事項				知識・技能					
目上の人に対して的確な敬語や表記で書く力を身に付ける。	書く力を養う				目上の人に対して的確な敬語や表記で書くことができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
手紙という特別な形式を理解し、表現を工夫して書く力を身に付ける。	ワークシート・副教材				手紙という特別な形式を理解し、表現を工夫して書くことができる。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
手紙という特別な形式を理解し、表現を工夫して書く力を身に付ける。	小テスト・課題の提出	手紙という特別な形式を理解し、表現を工夫して書くことができる。								
合計										70